

横ばいとなっている

(前回:緩やかに持ち直している)

〔生産は横ばい傾向であるが、一部で弱含み。輸出は14か月連続の増加。個人消費は持ち直している。雇用は改善しているものの、一部に厳しさがみられる。〕

■ 12月生産:横ばい傾向であるが、一部で弱含み

(11月:緩やかに持ち直している)

- 鉱工業生産指数 101.5
前月比 +0.4% (3か月ぶり)
前年同月比 +1.2% (6か月連続)
- 全13業種中、上昇は6業種
汎用・生産用・業務用機械工業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業 等
- 低下は5業種
電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業 等

(出所:九州経済産業局)

■ 12月輸出:増加(14か月連続)

(11月:増加)

- 輸出額 7,269億円
前年同月比 +13.8% (14か月連続)
- 主要品目
自動車 1,739億円 +32.8% (6か月連続)
電子部品 1,255億円 +17.2% (11か月連続)
鉄鋼のフラットロール製品 682億円 +1.0% (4か月連続)
- 国別
中国 1,441億円 ▲20.8% (7か月ぶり)
米国 1,108億円 +93.2% (7か月連続)
韓国 1,012億円 +5.0% (29か月連続)

(出所:門司税関)

■ 12月個人消費:持ち直している

(11月:持ち直している)

- 百貨店・スーパー販売額(全店)
1,813億円 前年同月比 +4.8% (15か月連続)
- コンビニ 1,104億円 +3.1% (13か月連続)
- 家電大型専門店 354億円 +4.4% (2か月ぶり)
- ドラッグストア 691億円 +10.5% (7か月連続)
- ホームセンター 338億円 +2.4% (2か月ぶり)
- 新車登録台数 31,718台 +5.9% (4か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

■ 12月雇用:改善しているものの、一部に厳しさがみられる

(11月:改善しているものの、一部に厳しさがみられる)

- 有効求人倍率 1.32倍
前月比 +0.01ポイント(2か月ぶり)
- 新規求人倍率 2.31倍
前月比 +0.11ポイント(3か月ぶり)
- 新規求人数
医療・福祉、卸売業・小売業、建設業、製造業、宿泊業・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■ 業況:改善

- 12月の業況DI (%ポイント)
全産業 +15 変化幅+7
製造業 +6 変化幅+1
非製造業 +19 変化幅+9
- 先行き(3月)
全産業 +8 変化幅▲7
製造業 +7 変化幅+1
非製造業 +10 変化幅▲9

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 設備投資:増加

- 21年度
全産業 +13.9%
製造業 +18.8%
非製造業 +5.0%
- 22年度(計画)
全産業 +13.0%
製造業 +17.4%
非製造業 +4.0%

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 12月住宅建設:増加(4か月ぶり)

- 新設着工戸数 7,189戸
前年同月比 +3.1%
(4か月ぶり)
- 持家 2,388戸
▲10.4% (7か月連続)
- 貸家 2,943戸
+6.6% (8か月連続)
- 分譲 1,799戸
+20.4% (4か月ぶり)

(出所:国土交通省)

■ 12月公共投資:減少(3か月連続)

- 工事請負金額 814億円
前年同月比 ▲3.1% (3か月連続)
- 発注者別前年同月比
国 ▲36.9%
独立行政法人等 ▲74.1%
県 +7.3%
市町村 +7.9%

(出所:西日本建設業保証㈱)

■ 12月倒産:増加(4か月連続)

- 倒産件数 51件
前年同月比 +50.0%
- 負債総額 77.1億円
+63.1% (2か月連続)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 8件 (+100.0%)
卸・小売業 15件 (+66.7%)
建設業 8件 (+60.0%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

今月の管内経済動向：九州地域の経済は、横ばいとなっている
生産は横ばい傾向であるが、一部で弱含み。輸出は 14 か月連続の増加。個人消費は持ち直している。
雇用は改善しているものの、一部に厳しさがみられる。

概 況	九州の主要経済指標(2022 年 12 月)		
1. 生産動向	■生産動向【九州経済産業局】		
12 月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、101.5 となり、前月比が+0.4%と 3 か月ぶりの上昇となった。前年同月比は+1.2%と 6 か月連続の上昇となった。	生産指数	101.5	前月比 0.4 前年同月比 1.2
	(参考)出荷指数	94.9	▲1.0 1.8
	在庫指数	101.9	▲1.0 4.3
2. 設備投資動向	■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2021 年度実績 2022 年度計画)		
2022 年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比+17.4%、非製造業は同+4.0%、全産業は同+13.0%と前年度を上回る見込み。		2021 年度	2022 年度
	全産業	13.9	13.0
	製造業	18.8	17.4
	非製造業	5.0	4.0
3. 貿易動向	■貿易動向【財務省】		
12 月の輸出額は、前年同月比+13.8%と 14 か月連続の増加。輸入額は同+42.3%と 23 か月連続の増加となった。	輸出通関額	7,269 億円	13.8
	輸入通関額	8,428 億円	42.3
4. 消費動向	■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】		
●百貨店・スーパー販売額	合計	181,261 百万円	4.8
12 月の百貨店・スーパー販売額は 1,813 億円で前年同月比+4.8%と 15 か月連続の増加となった。百貨店は 551 億円で同+0.2%と 10 か月連続の増加、スーパーは 1,262 億円で同+7.0%と 12 か月連続の増加となった。	百貨店	55,067 百万円	0.2
	スーパー	126,194 百万円	7.0
●コンビニエンスストア販売額	■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】		
12 月のコンビニエンスストア販売額は、1,104 億円で、前年同月比+3.1%の増加となった。店舗数は 5,549 店となった。	販売額	110,407 百万円	3.1
	店舗数	5,549 店	▲0.1
●家電販売額	■家電販売額【九州経済産業局】		
12 月の家電販売額は 354 億円で、前年同月比+4.4%の増加となった。	販売額	35,371 百万円	4.4
●乗用車新車登録・届出台数	■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】		
12 月の乗用車新車登録・届出台数は、普通乗用車、小型乗用車が前年を下回ったものの、軽自動車の前年を上回り、乗用車全体で前年同月比+5.9%と 4 か月連続の増加となった。	乗用車計	31,718 台	5.9
	普通乗用車	10,949 台	▲1.4
	小型乗用車	7,175 台	▲7.4
	軽自動車	13,594 台	22.4
●家計調査 ※2018 年 1 月分より一か月遅れの更新となります。	■家計調査【総務省】(2022 年 11 月)		
11 月の消費支出(二人以上の世帯)は 264,554 円で、前年同月比+2.2%と 5 か月連続の増加となった。実収入(勤労者世帯)は、同▲4.4%と 10 か月連続の減少となった。	消費支出	264,554 円	(実質) 2.2
	(二人以上の世帯)		
	実収入	433,286 円	(実質) ▲4.4
	(勤労者世帯)		
	平均消費性向(季調値、全国)	64.1%	▲1.1
●賃金(現金給与総額)	■賃金【各県】(2022 年 10 月)		
10 月の賃金(5 人以上の事業所)は、全産業では前年同月比+1.0%と 23 か月連続の増加、製造業は同+3.5%と 8 か月連続の増加となった。	全産業	243,567 円	1.0
	製造業	273,910 円	3.5
5. 住宅建設動向	■住宅建設動向【国土交通省】		
12 月の新設住宅着工戸数は、持家が減少したものの、貸家、分譲が増加し、全体で前年同月比+3.1%と 4 か月ぶりの増加となった。	住宅着工計	7,189 戸	3.1
	持家	2,388 戸	▲10.4
	貸家	2,943 戸	6.6
	分譲住宅	1,799 戸	20.4
6. 物価動向	■物価動向【日本銀行・総務省】		
12 月の消費者物価指数(九州)は、103.5 で前年同月比+3.7%と 14 か月連続の上昇(前月比+0.1%)となった。国内企業物価指数は、119.5 で前年同月比+10.2%と 22 か月連続の上昇(前月比+0.5%)となった。	消費者物価指数(九州)	103.5	0.1 3.7
	企業物価指数(全国)	119.5	0.5 10.2
7. 雇用動向	■雇用動向【九州各労働局】		
12 月の有効求人倍率は、前月比+0.01 ポイントの 1.32 倍、新規求人倍率は、同+0.11 ポイントの 2.31 倍となった。	有効求人倍率(季調値)	1.32 倍	0.01 0.12
	新規求人倍率(季調値)	2.31 倍	0.11 0.22
8. 公共投資動向	■公共投資動向[工事請負]【西日本建設業保証(株)】		
12 月の公共工事請負金額は、前年と比較し、県、市町村が増加したものの、国、独立行政法人等が減少し、全体で前年同月比▲3.1%と 3 か月連続の減少となった。	請負金額	81,425 百万円	▲3.1
9. 企業倒産動向	■企業倒産動向【(株)東京商工リサーチ福岡支社】		
12 月の倒産件数は前年同月比+50.0%と 4 か月連続の増加、負債総額は同+63.1%と 2 か月連続の増加となった。	倒産件数	51 件	50.0
	負債総額	7,710 百万円	63.1

(注) ・「1. 生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。 ・「4.消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記。

九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2023 年 2 月 15 日
九州経済産業局

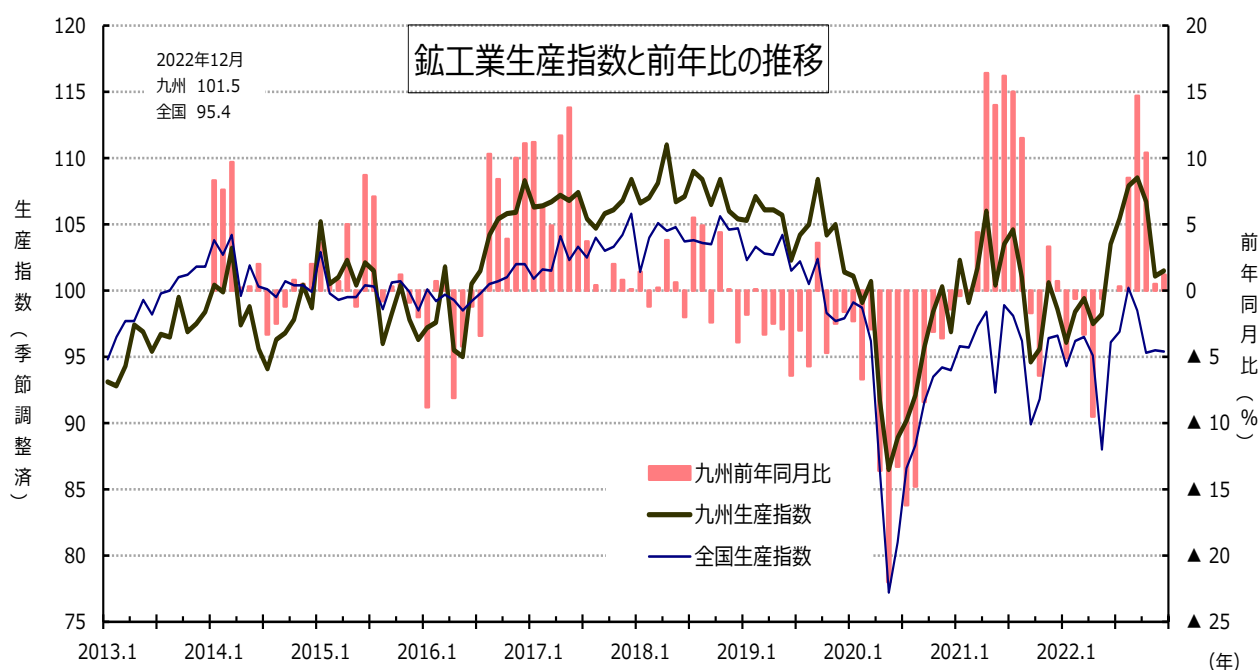
1. 生産動向

(1) 全体

2022 年 12 月の鉱工業生産指数(季節調整済)は 101.5 となり、前月比が+0.4%と 3 か月ぶりの上昇、前年同月比は+1.2%と 6 か月連続の上昇となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
		前月比 %		前年同月比 %		前月比 %		前年同月比 %
生 産	101.5	0.4	107.0	1.2	95.4	▲ 0.1	97.2	▲ 2.8
出 荷	94.9	▲ 1.0	100.9	1.8	92.7	▲ 0.7	96.8	▲ 3.0
在 庫	101.9	▲ 1.0	102.1	4.3	103.1	▲ 0.5	100.9	3.2
在庫率	106.5	▲ 1.9	113.5	6.0	124.5	1.2	118.7	9.8

▲印は低下を示す。(2015年=100)

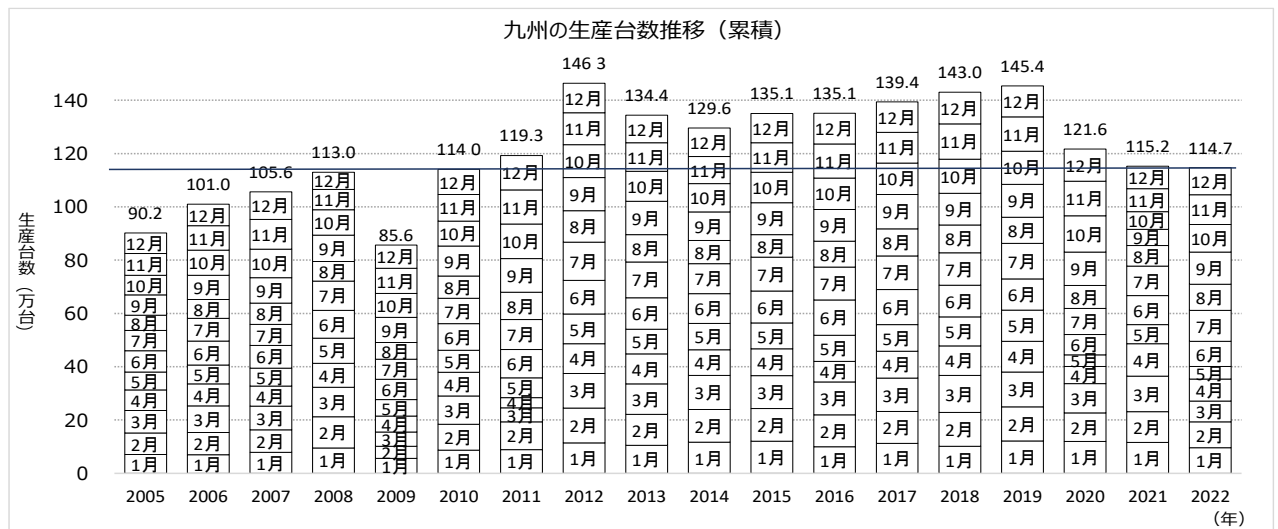


【生産】 前月比 0.4 % 3か月ぶり上昇（全13業種中 上昇 6業種、低下 5業種、横ばい 2業種）

主な上昇・低下業種／ウェイト		前年 同月比	前月比		主な上昇・低下品目
			前月	今月	
上昇	汎用・生産用・業務用機械工業	1,216.8	25.3	▲ 19.5	8.4 半導体製造装置、個装・内装機械 等
	金属製品工業	487.4	2.2	▲ 1.6	6.1 鉄骨、スチール・ステンレス製建具 等
	パルプ・紙・紙加工品工業	190.1	▲ 2.9	▲ 10.2	8.4 製紙パルプ、情報用紙 等
低下	電子部品・デバイス工業	1,359.4	▲ 0.4	▲ 6.8	▲ 4.6 半導体集積回路（CCD・その他）、半導体集積回路（ロジック）等
	輸送機械工業	1,351.7	3.6	▲ 0.5	▲ 4.6 普通乗用車、軽・小型乗用車 等
	鉄鋼・非鉄金属工業	770.7	▲ 0.3	2.9	▲ 4.4 特殊鋼鋼材、アルミニウム押出製品 等

（2）四輪自動車生産動向

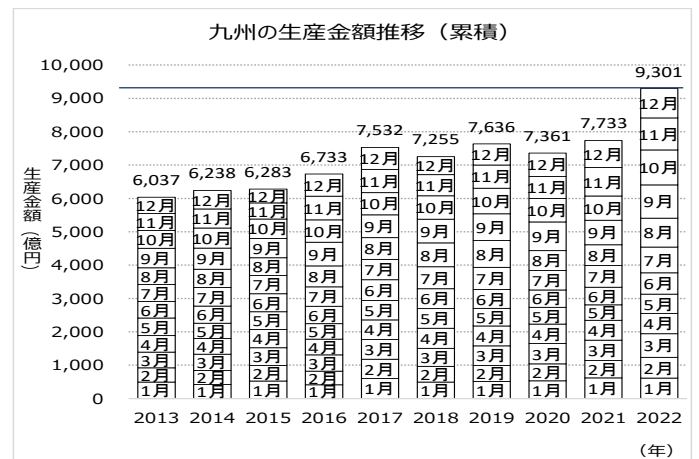
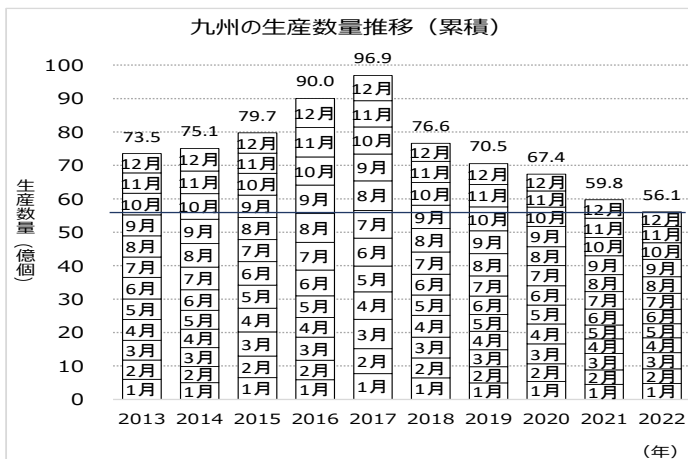
生産台数は 101,645 台と、前月比▲8.9%、前年同月比＋20.7%となった。



（3）IC生産動向

生産は、数量で 4 億 3,845 万個と、前月比▲9.7%、前年同月比▲21.2%となった。

金額で 884 億 7,200 万円と、前月比▲7.9%、前年同月比＋9.7%となった。



2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄) (前年度比、%)

	21年度		22年度	
		修正率	(計画)	修正率
製造業	18.8	-	17.4	▲ 0.9
非製造業 (除 電気・ガス)	5.0	-	4.0	0.6
全産業 (除 電気・ガス)	13.9	-	13.0	▲ 0.4
(参考)全国全産業	▲ 0.8	-	15.1	▲ 1.1

(注1)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

(注2)修正率(%)は前回調査との対比。

出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」12月

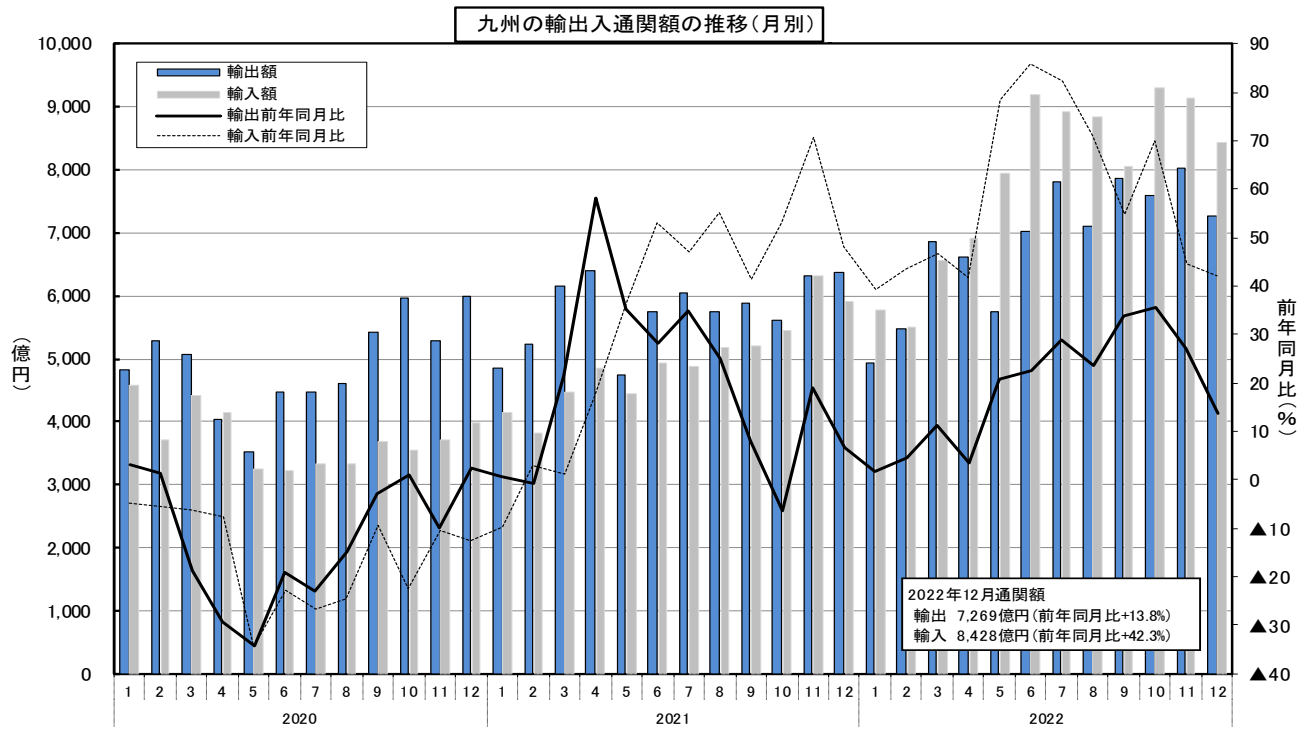
3. 貿易動向

12月		金 額	前年同月比		全国 シェア
輸 出	九州	7,269億円	+ 13.8%	14か月連続の増加	8.3%
	全国	8兆7,872億円	+ 11.5%	22か月連続の増加	-
輸 入	九州	8,428億円	+ 42.3%	23か月連続の増加	8.2%
	全国	10兆2,390億円	+ 20.7%	23か月連続の増加	-
貿易収支	九州	▲1,159億円	-	9か月連続の貿易赤字	-
	全国	▲1兆4,518億円	-	17か月連続の貿易赤字	-

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

		2021年	2022年	2022年				2022年			
				1~3	4~6	7~9	10~12	9月	10月	11月	12月
輸出通関額(円)	九州	17.2	R 19.1	6.2	14.8	28.9	R 25.1	33.9	35.7	27.1	R 13.8
	前年比: % 全国	21.5	R 18.2	14.5	15.9	23.2	R 18.7	28.9	25.3	20.0	R 11.5
輸入通関額(円)	九州	32.8	P 58.5	43.3	68.6	69.2	P 51.8	55.0	70.2	R 44.7	P 42.3
	前年比: % 全国	24.8	P 39.2	34.6	40.8	47.6	P 34.0	45.8	53.7	R 30.3	P 20.7
対アジア	輸出	16.5	R 15.8	9.1	13.5	31.2	R 9.2	40.5	26.8	7.5	R ▲ 3.1
	前年比: % 輸入	21.0	P 35.7	23.0	26.1	41.3	P 51.2	36.8	50.3	R 49.6	P 53.9
為替レート(¥/\$) (期中平均)		109.80	131.38	116.18	129.56	138.34	141.46	143.14	147.01	142.44	134.93
原油輸入価格 (CIFベース\$/B)		69.45	P 102.49	86.10	110.82	113.07	P 100.19	110.86	106.03	R 100.46	P 94.99

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品 目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	自動車	1,739	+ 32.8%	6か月連続	+6.7%	アメリカ(+308.9%)、中東(+166.2%)、台湾(+138.0%)、EU(+3091.1%)、韓国(+4.4%)、ASEAN(+172.4%)、香港(+114.8%)等が増加。中国(▲50.5%)等が減少。
増加	半導体等電子部品	1,255	+ 17.2%	11か月連続	+2.9%	韓国(+12.4%)、ASEAN(+14.7%)、香港(+2.4%)、中国(+117.6%)、台湾(+22.6%)、EU(+45.5%)等が増加。アメリカ(▲31.0%)、中東(▲66.7%)等が減少。
増加	ゴムタイヤ及びチューブ	279	+ 27.0%	22か月連続	+0.9%	アメリカ(+70.6%)、EU(+4.9%)、中東(+46.4%)、中国(+106.3%)、香港(+223.4%)等が増加。ASEAN(▲24.8%)、韓国(▲21.3%)、台湾(▲17.4%)等が減少。
増加	半導体等製造装置	277	+ 24.6%	8か月連続	+0.9%	台湾(+344.7%)、韓国(+21.4%)、ASEAN(+109.1%)、EU(+282.5%)等が増加。中国(▲23.7%)、アメリカ(▲76.0%)、中東(▲58.5%)等が減少。
増加	有機化合物	238	+ 7.8%	2か月連続	+0.3%	韓国(+7.9%)、台湾(+116.7%)、EU(+70.0%)、アメリカ(+3.3%)、中東(+104.5%)等が増加。中国(▲4.9%)、ASEAN(▲27.1%)、香港(▲74.5%)等が減少。
増加	鉄鋼のフラットロール製品	682	+ 1.0%	4か月連続	+0.1%	ASEAN(+6.8%)、韓国(+38.5%)、EU(+187.7%)、中東(+63.3%)、台湾(+4.8%)等が増加。中国(▲18.6%)、アメリカ(▲64.4%)、香港(▲57.4%)等が減少。
減少	船舶類	47	▲ 61.0%	3か月ぶり	▲1.1%	韓国(+6933.9%)等が増加。ASEAN(▲100.0%)、香港(▲100.0%)等が減少。

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸入	品 目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
増加	原油及び粗油	1,803	+ 33.4%	20か月連続	+7.6%	2,220千KL	▲ 4.2%	4か月ぶり
増加	液化天然ガス	544	+ 33.9%	11か月連続	+2.3%	3,650百MT	▲ 6.1%	2か月ぶり

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要品目の動き ※()内は前年同月比
増加	アメリカ合衆国	1,108	+ 93.2%	7か月連続	+8.4%	自動車(+308.9%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+70.6%)、有機化合物(+3.3%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲64.4%)、半導体等電子部品(▲31.0%)、半導体等製造装置(▲76.0%)等が減少。
増加	EU	574	+ 98.6%	4か月連続	+4.5%	自動車(+3091.1%)、鉄鋼のフラットロール製品(+187.7%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+4.9%)、有機化合物(+70.0%)、半導体等電子部品(+45.5%)、半導体等製造装置(+282.5%)等が増加。
増加	中東	301	+ 97.4%	13か月連続	+2.3%	自動車(+166.2%)、鉄鋼のフラットロール製品(+63.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+46.4%)、有機化合物(+104.5%)等が増加。半導体等製造装置(▲58.5%)、半導体等電子部品(▲66.7%)等が減少。
増加	台湾	561	+ 33.8%	4か月連続	+2.2%	半導体等製造装置(+344.7%)、自動車(+138.0%)、半導体等電子部品(+22.6%)、有機化合物(+116.7%)、鉄鋼のフラットロール製品(+4.8%)等が増加。ゴムタイヤ及びチューブ(▲17.4%)等が減少。
増加	ASEAN	1,156	+ 13.0%	2か月ぶり	+2.1%	半導体等電子部品(+14.7%)、鉄鋼のフラットロール製品(+6.8%)、自動車(+172.4%)、半導体等製造装置(+109.1%)等が増加。有機化合物(▲27.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲24.8%)、船舶類(▲100.0%)等が減少。
増加	大韓民国	1,012	+ 5.0%	29か月連続	+0.8%	半導体等電子部品(+12.4%)、鉄鋼のフラットロール製品(+38.5%)、半導体等製造装置(+21.4%)、自動車(+4.4%)、有機化合物(+7.9%)、船舶類(+6933.9%)等が増加。ゴムタイヤ及びチューブ(▲21.3%)等が減少。
減少	中華人民共和国	1,441	▲ 20.8%	7か月ぶり	▲5.9%	半導体等電子部品(+117.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+106.3%)等が増加。自動車(▲50.5%)、半導体等製造装置(▲23.7%)、有機化合物(▲4.9%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲18.6%)等が減少。
減少	香港	322	▲ 15.6%	8か月ぶり	▲0.9%	半導体等電子部品(+2.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+223.4%)、自動車(+114.8%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲57.4%)、有機化合物(▲74.5%)、船舶類(▲100.0%)等が減少。

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	ASEAN	1,275	+ 93.3%	10か月連続	+10.4%
増加	オーストラリア	1,460	+ 47.1%	21か月連続	+7.9%
増加	アメリカ合衆国	643	+116.2%	13か月連続	+5.8%
増加	中華人民共和国	1,183	+ 31.5%	8か月連続	+4.8%
増加	中東	1,533	+ 13.6%	20か月連続	+3.1%
増加	EU	183	+ 64.8%	2か月ぶり	+1.2%
増加	大韓民国	213	+ 2.0%	6か月連続	+0.1%
減少	ロシア	190	▲ 37.1%	2か月連続	▲1.9%
減少	ペルー	7	▲ 84.7%	2か月ぶり	▲0.6%
減少	ナイジェリア	0	▲ 79.1%	2か月連続	▲0.0%

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

4. 消費動向

(1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	販売額	合 計		販売額	百貨店		販売額	スーパー	
		前年同月比 全店	(既存店)		前年同月比 全店	(既存店)		前年同月比 全店	(既存店)
全 国	2,226,538	4.1	(3.6)	677,578	3.7	(4.0)	1,548,960	4.2	(3.5)
九 州 計	181,261	4.8	(4.3)	55,067	0.2	(0.2)	126,194	7.0	(6.2)
衣料品	35,720	5.4	(5.6)	22,638	1.9	(1.9)	13,082	12.1	(12.7)
飲食料品	97,250	6.0	(5.3)	18,411	▲ 0.8	(▲ 0.8)	78,839	7.7	(6.8)
その他	48,291	2.2	(1.4)	14,018	▲ 1.0	(▲ 1.0)	34,273	3.5	(2.5)

【注】 九州計の数値は沖縄を含む。

	品 目	寄与度 (全店)	主 な 動 き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	合計	0.2	インバウンドや帰省、旅行需要により衣料品に動きがみられたことなどから、10か月連続の増加となった。	0.2	0.2
	衣料品計	0.8	インバウンドや帰省、旅行需要により鞆等が好調だったことから、10か月連続の増加となった。	1.9	1.9
	飲食料品	▲ 0.3	年末年始用の食品、土産物需要により菓子等が好調だったものの、お歳暮の動きが鈍かったことなどから、2か月連続の減少となった。	▲ 0.8	▲ 0.8
	その他計	▲ 0.3	全般的に動きが鈍かったことから、15か月ぶりの減少となった。	▲ 1.0	▲ 1.0
スーパー	合計	7.0	価格上昇の影響に加え、飲食料品を中心に全般的に動きがみられたことから、12か月連続の増加となった。	7.0	6.2
	衣料品計	1.2	気温低下の影響や外出機会の増加により全般的に好調だったことから、2か月ぶりの増加となった。	12.1	12.7
	飲食料品	4.8	年末年始用の食品の動きが良かったことなどから、16か月連続の増加となった。	7.7	6.8
	その他計	1.0	全般的に動きがみられたことから、12か月連続の増加となった。	3.5	2.5

(2)コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

	九 州				全 国			
	販売額	前年同月比	店舗数	前年同月比	販売額	前年同月比	店舗数	前年同月比
コンビニエンスストア	110,407	3.1	5,549	▲ 0.1	1,101,415	3.9	56,232	▲ 0.2
全国比	10.0	—	9.9	—	—	—	—	—
家電大型専門店	35,371	4.4	323	1.3	484,534	2.5	2,670	1.4
全国比	7.3	—	12.1	—	—	—	—	—
ドラッグストア	69,079	10.5	1,504	3.4	731,196	11.1	18,428	4.6
全国比	9.4	—	8.2	—	—	—	—	—
ホームセンター	33,774	2.4	555	0.7	339,545	2.8	4,437	1.4
全国比	9.9	—	12.5	—	—	—	—	—

(3) 乗用車新車登録・届出台数動向

12月	九 州			全 国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	31,718台	+ 5.9%	4か月連続	283,915台	+ 1.5%	4か月連続
普通	10,949台	▲ 1.4%	2か月連続	113,393台	▲ 3.8%	4か月ぶり
小型	7,175台	▲ 7.4%	4か月ぶり	66,985台	▲ 8.2%	4か月ぶり
軽	13,594台	+ 22.4%	4か月連続	103,537台	+ 16.5%	4か月連続

出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

前年同月比(%)

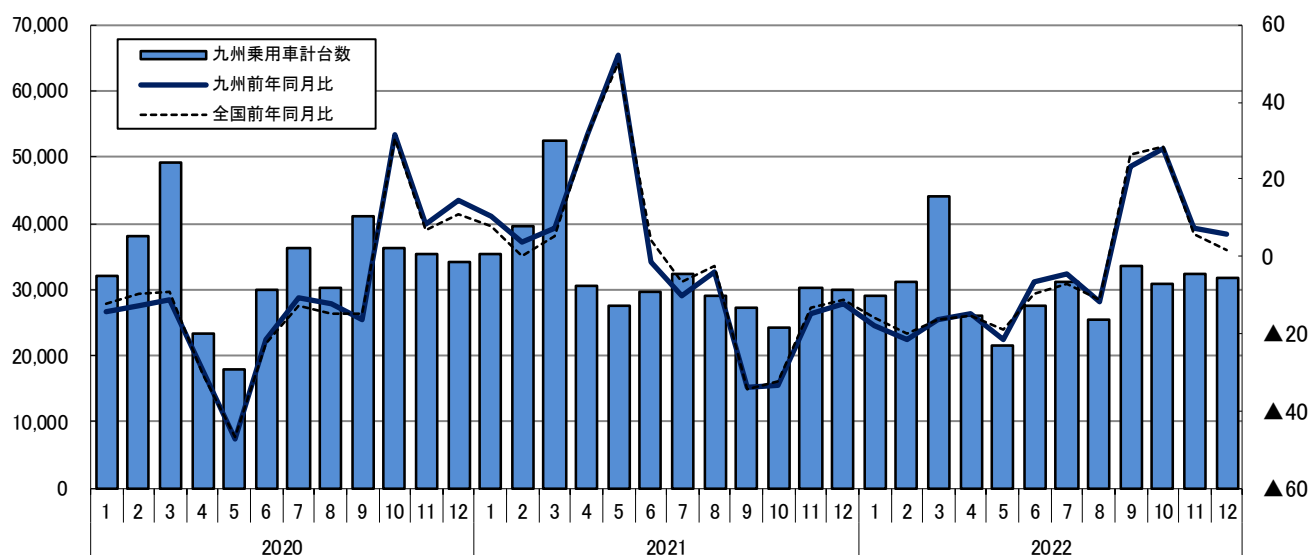
		2021年	2022年	2022年				2022年			
				1~3	4~6	7~9	10~12	9月	10月	11月	12月
九州	全体	▲ 3.9	▲ 6.1	▲ 18.3	▲ 14.1	1.7	12.6	23.6	27.8	7.1	5.9
	普通乗用車	6.2	▲ 6.9	▲ 15.7	▲ 16.7	1.2	6.7	21.0	26.8	▲ 0.3	▲ 1.4
	小型乗用車	▲ 15.4	▲ 5.5	▲ 10.8	▲ 13.4	▲ 0.9	5.0	32.7	27.1	0.4	▲ 7.4
	軽自動車	▲ 3.9	▲ 5.7	▲ 24.5	▲ 12.6	3.9	22.9	21.2	29.1	18.1	22.4
全国	全体	▲ 3.5	▲ 6.2	▲ 17.4	▲ 14.5	2.1	10.8	26.6	28.5	5.7	1.5
	普通乗用車	5.6	▲ 7.0	▲ 16.5	▲ 16.1	3.3	5.5	23.3	21.6	2.4	▲ 3.8
	小型乗用車	▲ 14.1	▲ 7.9	▲ 12.1	▲ 15.9	▲ 7.3	5.8	27.7	27.2	2.2	▲ 8.2
	軽自動車	▲ 4.2	▲ 4.0	▲ 21.9	▲ 11.7	8.3	20.8	29.9	37.2	11.9	16.5

出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

台

乗用車新車登録・届出台数の推移[月別]

(軽自動車含む) 前年同月比(%)



出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

(4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

11月	名 目		実質/前年同月比	
消費支出	九州	26万4,554円	+ 2.2%	5か月連続
	全国	28万5,947円	▲ 1.2%	6か月ぶり

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

11月	名 目		実質/前年同月比	
実収入	九州	43万3,286円	▲ 4.4%	10か月連続
	全国	50万2,259円	▲ 0.3%	2か月連続

出所:総務省「家計調査報告」

(5) 賃 金 (現金給与総額)

10月 九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
全産業	24万3,567円	+ 1.0%	23か月連続	9.4時間	+ 2.6%	19か月連続
製造業	27万3,910円	+ 3.5%	8か月連続	14.9時間	+ 9.0%	20か月連続

出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

5人以上規模・全国製造業入り

前年同月比(%)

毎月勤労統計		2020年	2021年	2021年	2022年			2022年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
九州 全産業	5人以上	0.1	1.4	1.1	0.9	2.2	1.2	1.6	1.1	1.0	-
		▲ 2.4	3.5	1.9	3.5	6.0	3.5	1.6	2.7	3.5	-
全国 全産業	5人以上	▲ 1.2	0.3	0.0	1.5	1.5	1.7	1.7	2.2	1.4	1.9
		▲ 3.4	2.0	1.8	0.4	1.1	2.1	0.1	0.7	1.1	1.7

出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

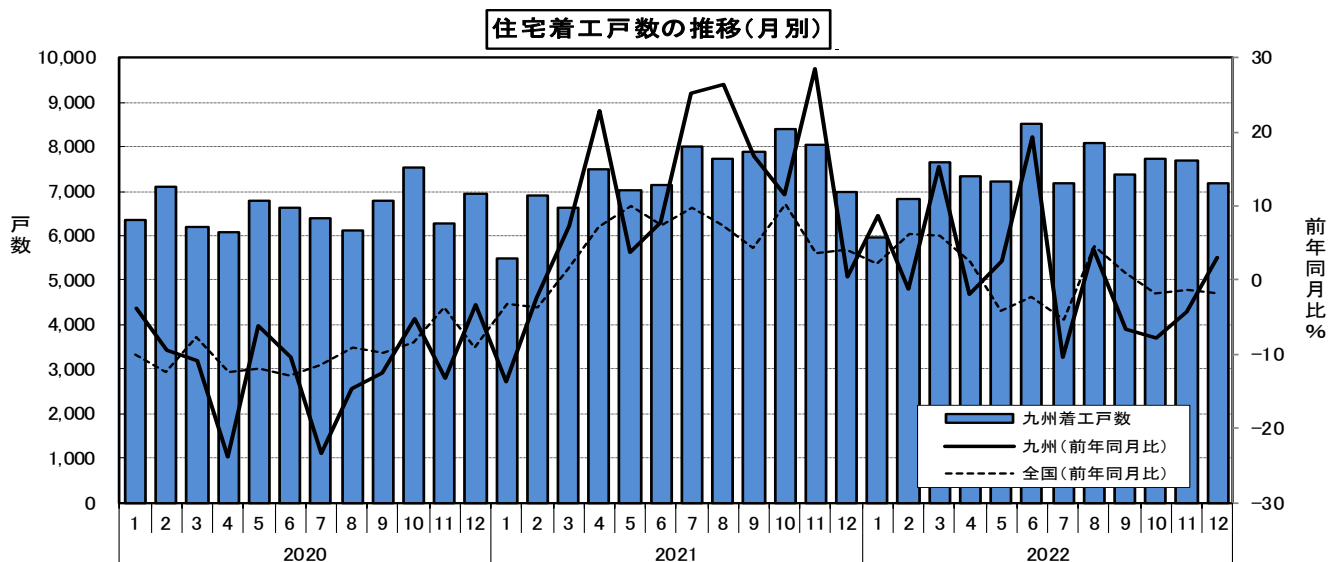
5. 住宅建設動向

12月 九州	戸数(戸)	前年同月比(%)	
総数	7,189戸	+ 3.1%	4か月ぶり
持家	2,388戸	▲ 10.4%	7か月連続
貸家	2,943戸	+ 6.6%	8か月連続
分譲	1,799戸	+ 20.4%	4か月ぶり
全国	戸数(戸)	前年同月比(%)	
総数	67,249戸	▲ 1.7%	3か月連続
持家	19,768戸	▲ 13.0%	13か月連続
貸家	26,845戸	+ 6.4%	22か月連続
分譲	20,200戸	+ 1.4%	2か月ぶり

出所:国土交通省「建築着工統計調査」

項 目		2021年	2022年	2022年				2022年			
				1~3	4~6	7~9	10~12	9月	10月	11月	12月
新設住宅着工戸数	九州	10.9	12	7.4	6.6	▲ 4.3	▲ 3.4	▲ 6.5	▲ 7.9	▲ 4.4	3.1
	前年比: %	5.0	0.4	4.9	▲ 1.3	▲ 0.0	▲ 1.6	1.1	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 1.7
	持 家	九州	9.8	▲ 12.6	▲ 10.2	▲ 6.3	▲ 16.9	▲ 15.6	▲ 15.7	▲ 18.4	▲ 17.7
		全国	9.4	▲ 11.3	▲ 6.9	▲ 8.9	▲ 12.8	▲ 15.7	▲ 13.3	▲ 18.7	▲ 15.1
	貸 家	九州	3.8	11.5	22.6	8.1	8.2	9.2	13.4	7.6	13.4
		全国	4.8	7.4	13.5	2.5	6.3	8.4	8.4	7.3	11.4
分譲住宅	九州	27.1	3.6	9.3	23.8	▲ 9.2	▲ 6.2	▲ 25.5	▲ 19.4	▲ 11.6	20.4
	全国	1.5	4.7	7.6	2.7	7.1	1.8	10.2	4.8	▲ 0.8	1.4

出所:国土交通省「建築着工統計調査」



6. 物価動向

12月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	103.5	+ 0.1%	12か月連続	+ 3.7%	14か月連続
12月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	104.1	+ 0.2%	6か月連続	+ 4.0%	16か月連続

12月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	119.5	+ 0.5%	12か月連続	+ 10.2%	22か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	126.5	▲ 3.1%	2か月連続	+ 12.1%	22か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	171.2	▲ 4.1%	3か月連続	+ 22.8%	22か月連続

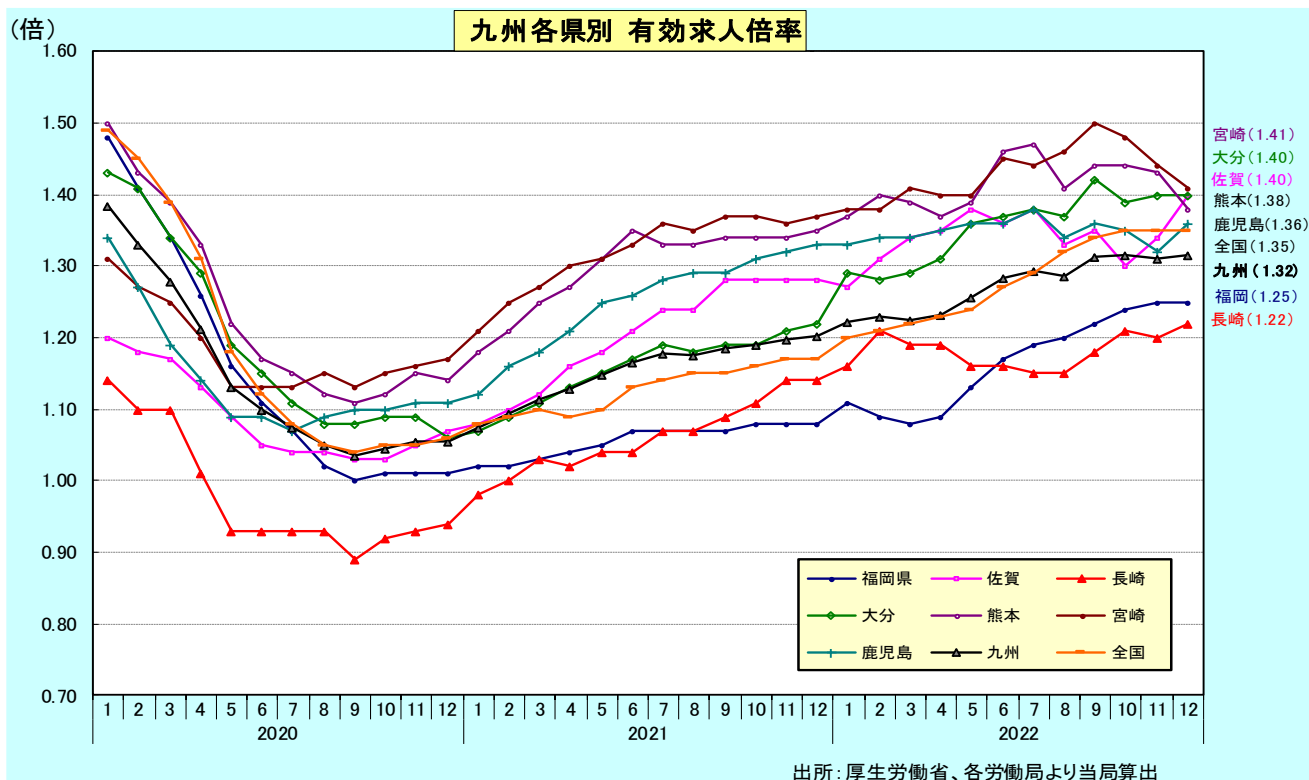
出所:総務省「消費者物価指数」(2020年基準)、日本銀行「企業物価指数」(2020年基準)

7. 雇用動向

項 目		2021年	2022年	2022年 1~3	4~6	7~9	10~12	2022年 9月	10月	11月	12月
有効求人倍率	九州	1.15	1.27	1.22	1.26	1.30	1.31	1.31	1.32	1.31	1.32
	全国	1.13	1.28	1.21	1.25	1.32	1.35	1.34	1.35	1.35	1.35
新規求人倍率	九州	1.96	2.15	2.05	2.12	2.22	2.25	2.27	2.24	2.20	2.31
	全国	2.02	2.26	2.18	2.23	2.33	2.38	2.27	2.33	2.42	2.39

(注1)月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

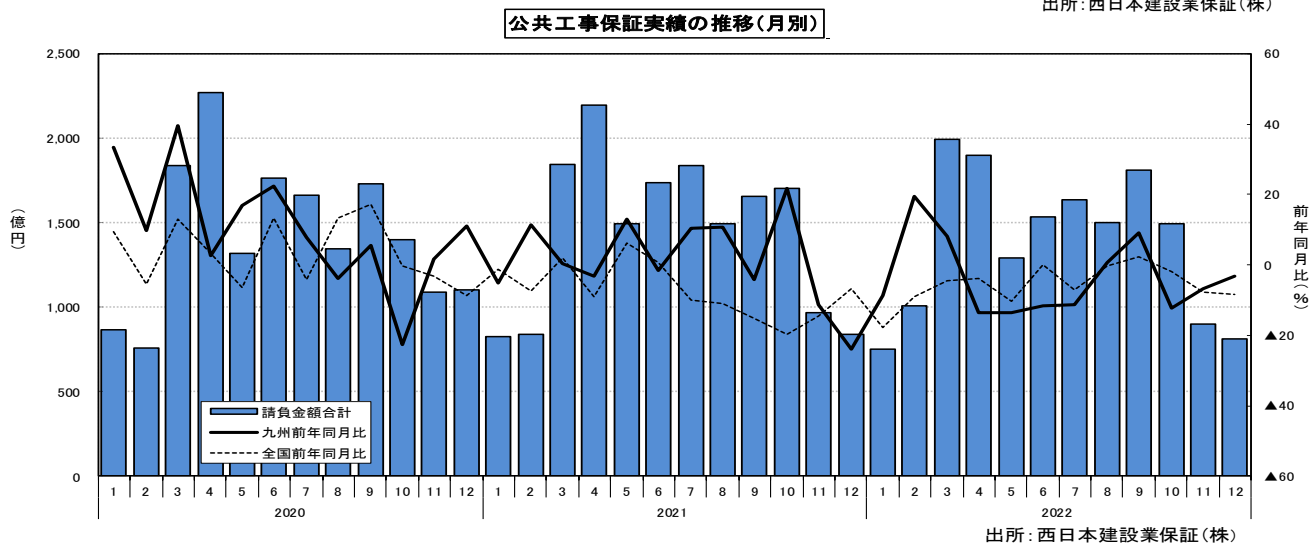
出所:厚生労働省、各労働局資料より九州経済産業局作成



8. 公共投資動向

12月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人等	県	市町村	その他
九州	814億円	▲ 3.1%	3か月連続	▲ 36.9%	▲ 74.1%	+ 7.3%	+ 7.9%	▲ 8.2%
全国	6,283億円	▲ 8.4%	3か月連続	▲ 28.2%	▲ 27.8%	▲ 6.3%	▲ 4.1%	+ 32.4%

出所：西日本建設業保証（株）

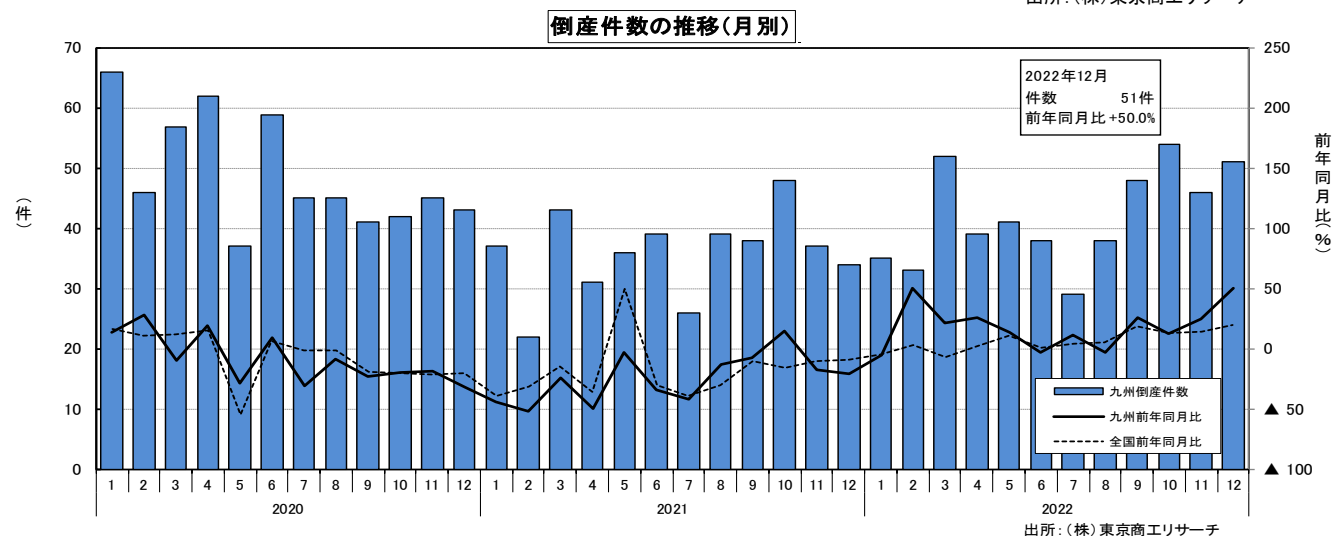


9. 企業倒産動向

12月		前年同月比		
倒産件数	九州	51件	+ 50.0%	4か月連続
	全国	606件	+ 20.2%	9か月連続
負債総額	九州	77.1億円	+ 63.1%	2か月連続
	全国	791.7億円	▲ 15.0%	2か月ぶり

12月	業種別	前年同月比		
倒産件数	製造	8件	+100.0%	5か月連続
	卸・小売	15件	+ 66.7%	3か月ぶり
	建設	8件	+ 60.0%	2か月ぶり
	その他	20件	+ 25.0%	2か月連続

出所：（株）東京商工リサーチ



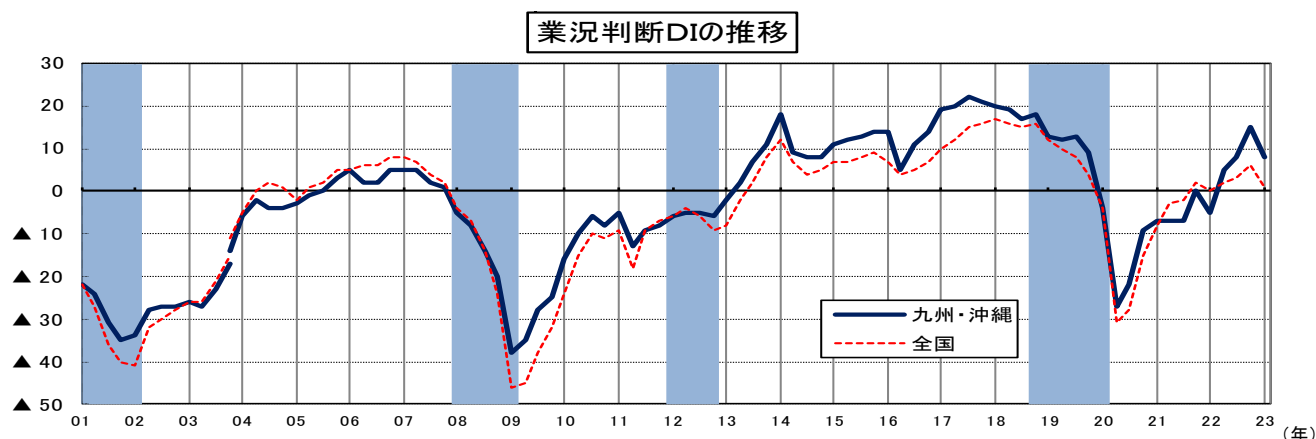
(参考)業況判断

(1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

日銀短観(12月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業DIは+6(前回調査比+1ポイント)、非製造業は+19(同+9ポイント)、全産業で+15(同+7ポイント)となった。次回予測(23年3月)の数値は、製造業は+7(12月比+1ポイント)、非製造業は+10(同▲9ポイント)、全産業で+8(同▲7ポイント)と予測。

												(先行き)
		2020年		2021年				2022年				2023年
業況判断DI		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
全産業	九州・沖縄	▲ 22	▲ 9	▲ 7	▲ 7	▲ 7	0	▲ 5	5	8	15	8
	全国	▲ 28	▲ 15	▲ 8	▲ 3	▲ 2	2	0	2	3	6	1
製造業	九州・沖縄	▲ 29	▲ 13	▲ 4	▲ 2	▲ 3	1	▲ 3	1	5	6	7
	全国	▲ 37	▲ 20	▲ 6	2	5	6	2	1	0	2	▲ 2
非製造業	九州・沖縄	▲ 19	▲ 6	▲ 8	▲ 9	▲ 10	▲ 1	▲ 6	7	10	19	10
	全国	▲ 21	▲ 11	▲ 9	▲ 7	▲ 7	0	▲ 2	4	5	10	3

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。



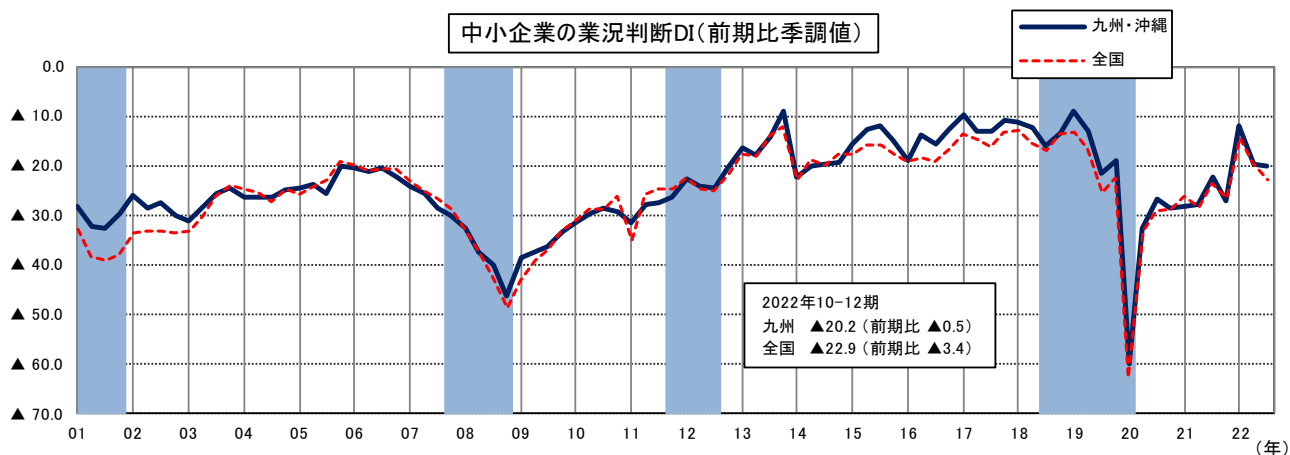
(注) 網掛け部分は景気後退期

出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」

(2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2022年10-12月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲20.2と前期から▲0.5ポイントの低下となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2020年		2021年			2022年				
		7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
全産業	九州・沖縄	▲32.7	▲26.7	▲28.5	▲28.1	▲28.0	▲22.2	▲27.0	▲12.0	▲19.7	▲20.2
	全国	▲33.3	▲29.1	▲28.7	▲26.2	▲28.4	▲23.5	▲26.6	▲14.4	▲19.5	▲22.9
製造業	九州・沖縄	▲35.7	▲27.9	▲22.9	▲22.1	▲21.5	▲22.1	▲19.0	▲11.3	▲17.0	▲18.9
	全国	▲40.3	▲30.1	▲24.8	▲17.1	▲17.9	▲19.5	▲17.6	▲12.7	▲15.2	▲19.2
非製造業	九州・沖縄	▲33.1	▲25.9	▲29.7	▲29.4	▲31.4	▲21.7	▲28.9	▲12.4	▲20.0	▲20.7
	全国	▲31.0	▲28.9	▲30.1	▲29.2	▲31.7	▲24.9	▲29.6	▲15.1	▲21.0	▲24.0



(注) 網掛け部分は景気後退期

出所: 中小企業庁「中小企業景況調査」

九経マンスリー（2022 年）

2023 年 2 月 15 日
九州経済産業局

概 況	九州の主要経済指標(2022 年)		
1. 生産動向 2022 年の鉱工業生産指数(原指数)は、101.9 で前年比+1.3%と 2 年連続の上昇となった。	■生産動向【九州経済産業局】 生産指数 101.9 前年比 1.3 (参考)出荷指数 95.9 ▲0.1 在庫指数 102.1 4.3		
2. 設備投資動向 2022 年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比+17.4%、非製造業は同 +4.0%、全産業は同+13.0%と前年度を上回る見込み。	■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2021 年度実績 2022 年度計画) 2021 年度 2022 年度 全産業 13.9 13.0 製造業 18.8 17.4 非製造業 5.0 4.0		
3. 貿易動向 2022 年の輸出額は、前年比+19.1%と 2 年連続の増加となった。輸入額は同 +58.5%と 2 年連続の増加となった。	■貿易動向【財務省】 輸出通関額 8 兆 2,384 億円 19.1 輸入通関額 9 兆 4,593 億円 58.5		
4. 消費動向 ●百貨店・スーパー販売額 2022 年の百貨店・スーパー販売額は 1 兆 5,958 億円で前年比+4.9%と 2 年連続の増加となった。百貨店は 4,335 億円で同+8.3%と 2 年連続の増加、スーパーは 1 兆 1,623 億円で同+3.7%と 2 年ぶりの増加となった。 ●コンビニエンスストア販売額 2022 年のコンビニエンスストア販売額は 1 兆 2,096 億円で前年比+3.7%となった。店舗数は 5,549 店となった。 ●家電販売額 2022 年の家電販売額は 3,482 億円で前年比▲2.0%となった。 ●乗用車新車登録・届出台数 2022 年の乗用車新車登録・届出台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車 が前年を下回り、乗用車全体で前年比▲6.1%と 4 年連続の減少となった。	■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】 合計 1,595,750 百万円 4.9 百貨店 433,476 百万円 8.3 スーパー 1,162,273 百万円 3.7 ■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】 販売額 1,209,589 百万円 3.7 店舗数 5,549 店 ▲0.1 ■家電販売額【九州経済産業局】 販売額 348,200 百万円 ▲2.0 ■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】 乗用車計 364,679 台 ▲6.1 普通車 124,544 台 ▲6.9 小型車 89,699 台 ▲5.5 軽自動車 150,436 台 ▲5.7		
5. 住宅建設動向 2022 年の新設住宅着工戸数は、持家が前年を下回ったものの、貸家、分譲が前年を上回り、全体では前年比+1.2%と 2 年連続の増加となった。	■住宅建設動向【国土交通省】 住宅着工計 88,814 戸 1.2 持家 27,721 戸 ▲12.6 貸家 38,913 戸 11.5 分譲住宅 21,431 戸 3.6		
6. 物価動向 2022 年の消費者物価指数(九州)は、101.8 で前年比+2.2%と 2 年ぶりの増加、国内企業物価指数は、114.7 で、同+9.7%と 2 年連続の上昇となった。	■物価動向【日本銀行・総務省】 消費者物価指数(九州) 101.8 2.2 企業物価指数(全国) 114.7 9.7		
7. 雇用動向 2022 年の有効求人倍率は前年比+0.12 ポイントの 1.27 倍と 2 年連続の上昇、新規求人倍率は同+0.19 ポイントの 2.15 倍と 2 年連続の上昇となった。	■雇用動向【九州各労働局】 有効求人倍率 1.27 倍 0.12 新規求人倍率 2.15 倍 0.19		
8. 公共投資動向 2022 年の公共工事請負金額は、前年と比較して、国、独立行政法人等が増加したものの、県、市町村が減少し、全体で前年比▲4.6%と 3 年ぶりの減少となった。	■公共投資動向【工事請負】【西日本建設業保証(株)】 請負金額 16,629 億円 ▲4.6		
9. 企業倒産動向 2022 年の倒産件数は前年比+17.2%と 3 年ぶりの増加となった。負債総額は同 +96.7%と 2 年ぶりの増加となった。	■企業倒産動向【(株)東京商工リサーチ福岡支社】 倒産件数 504 件 17.2 負債総額 1,372 億円 96.7		

8(注) ・「1. 生産動向」の指数は原指数。前年比は原数値で比較。
・「3. 貿易動向」は、九経マンスリー平成 26 年 3 月版から、山口・沖縄を含まない。

九 経 サ マ リ ー (2022 年)

— 最近の九州経済の動向について —

2023 年 2 月 15 日

九州経済産業局

1. 生産動向

(1) 全体

2022年の九州地域の鉱工業指数は、前年比で生産は+1.3%上昇、出荷は▲0.1%低下、在庫は+4.3%上昇した。

業種別にみると、13業種中、汎用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業など5業種が上昇し、輸送機械工業、その他工業など8業種が低下した。

(2015年=100)

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	(P) 2022年
九 州	生産指数	96.3	98.2	100.0	101.6	106.5	107.5	104.7	95.4	100.6	101.9
	前年比(%)		2.0	1.8	1.6	4.8	0.9	▲ 2.6	▲ 8.9	5.5	1.3
	出荷指数	96.6	97.5	100.0	101.0	104.9	105.3	103.5	92.4	96.0	95.9
	前年比(%)		0.9	2.6	1.0	3.9	0.4	▲ 1.7	▲ 10.7	3.9	▲ 0.1
	在庫指数	97.8	95.3	99.5	91.4	98.1	107.3	106.6	98.5	97.9	102.1
	前年比(%)		▲ 2.6	4.4	▲ 8.1	7.3	9.4	▲ 0.7	▲ 7.6	▲ 0.6	4.3
全 国	在庫率指数	99.4	96.8	100.0	97.4	96.8	103.8	111.0	188.0	129.1	119.3
	前年比(%)		▲ 2.6	3.3	▲ 2.6	▲ 0.6	7.2	6.9	69.4	▲ 31.3	▲ 7.6
全 国	生産指数	99.2	101.2	100.0	100.0	103.1	104.2	101.1	90.6	95.7	95.6
	前年比(%)		2.0	▲ 1.2	0.0	3.1	1.1	▲ 3.0	▲ 10.4	5.6	▲ 0.1

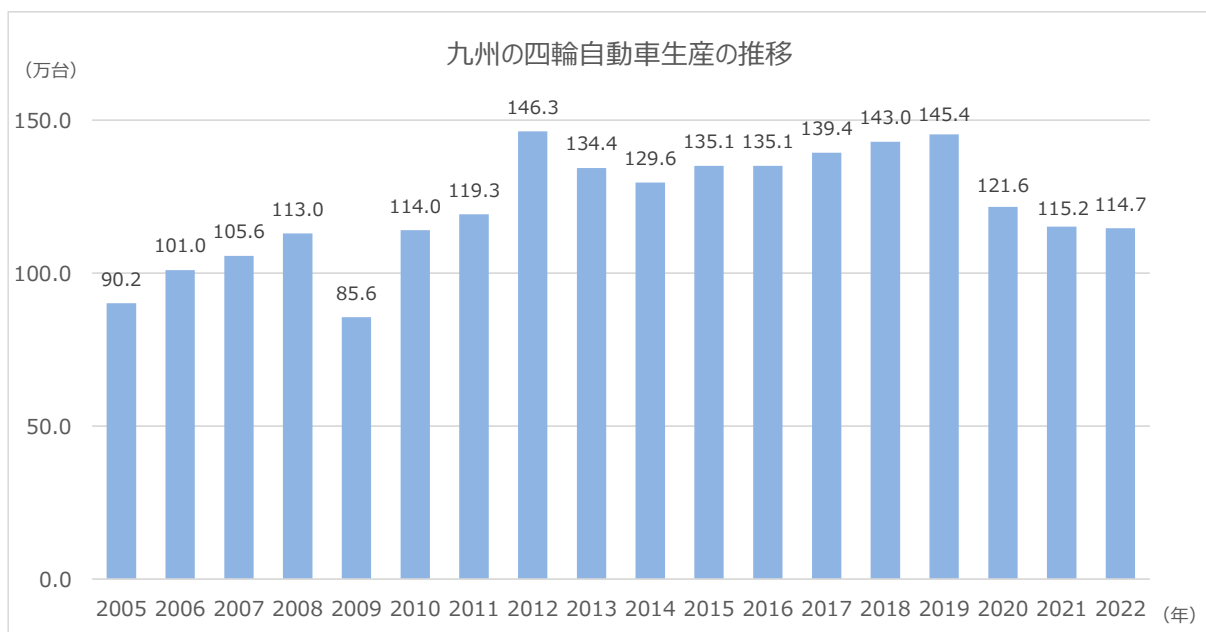
(注)年の指数及び前年比は原指数。Pは速報値、▲印は低下を示す。

【生産】・・全13業種中、上昇5業種、低下8業種

	主な上昇・低下業種	前年比	主な上昇・低下品目
上昇	汎用・生産用・業務用機械工業	16.9	半導体製造装置、産業用ロボット 等
	電子部品・デバイス工業	3.9	半導体集積回路 (CCD・その他)、半導体集積回路 (ロジック) 等
	電気・情報通信機械工業	5.2	制御ルー、回転電気機械 等
低下	輸送機械工業	▲ 6.5	普通乗用車、軽・小型乗用車 等
	その他工業	▲ 5.9	ゴム製品、平版印刷 (オフセット印刷) 等

(2) 四輪自動車生産動向

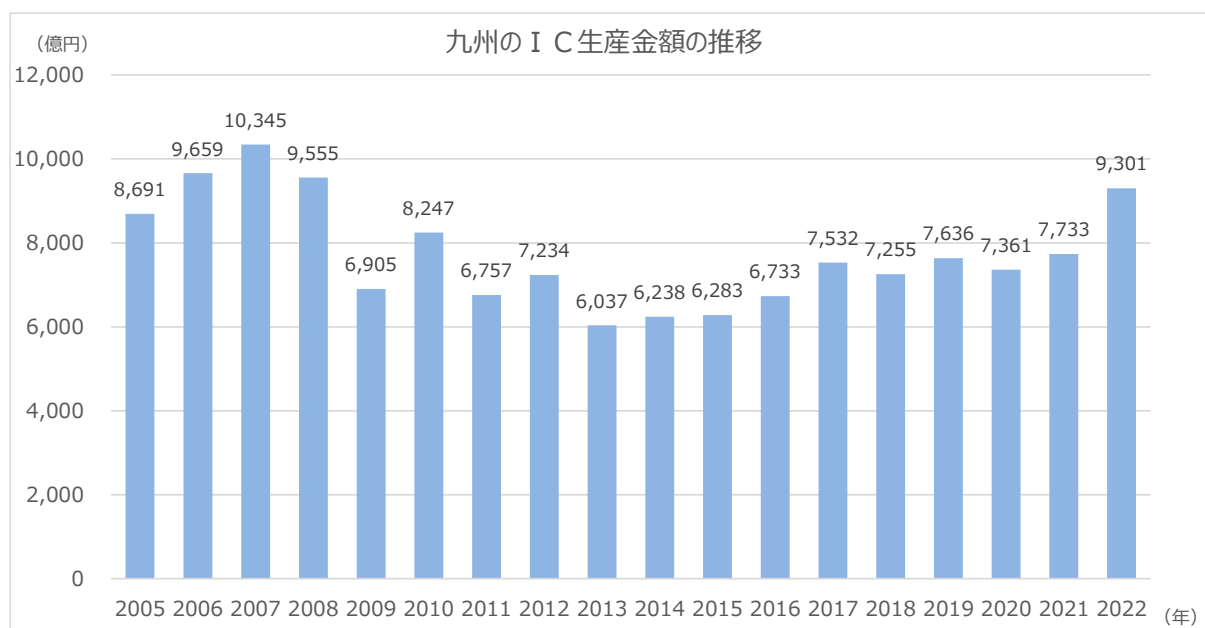
生産台数 1,146,897 台 前年比 ▲0.4%



(3) IC生産動向

生産 数量 56 億 1,079 万個 前年比 ▲6.1%

金額 9,301 億 3,700 万円 前年比 +20.3%



2. 貿易動向

2022年		金 額	前年比		全国 シェア
輸 出	九州	8兆2,384億円	+ 19.1%	2年連続の増加	8.4%
	全国	98兆1,860億円	+ 18.2%	2年連続の増加	－
輸 入	九州	9兆4,593億円	+ 58.5%	2年連続の増加	8.0%
	全国	118兆1,642億円	+ 39.2%	2年連続の増加	－
貿易収支	九州	▲1兆2,209億円	－	8年ぶりの貿易赤字	－
	全国	▲19兆9,782億円	－	2年連続の貿易赤字	－

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品 目	金額(億円)	前年比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年比
増加	自動車	18,299	+ 24.0%	2年連続	+5.1%	中国(+9.7%)、アメリカ(+40.8%)、中東(+50.8%)、台湾(+13.0%)、EU(+127.6%)、韓国(+1.0%)、ASEAN(+3.9%)等が増加。香港(▲72.2%)等が減少。
増加	半導体等電子部品	12,305	+ 37.7%	2年連続	+4.9%	韓国(+63.5%)、ASEAN(+24.0%)、香港(+25.7%)、中国(+69.2%)、台湾(+39.7%)、アメリカ(+41.5%)、中東(+116.7%)等が増加。EU(▲33.9%)等が減少。
増加	鉄鋼のフラットロール製品	7,305	+ 19.3%	2年連続	+1.7%	ASEAN(+13.0%)、韓国(+41.9%)、EU(+78.8%)、中東(+122.4%)、アメリカ(+20.6%)、台湾(+22.5%)等が増加。中国(▲0.3%)、香港(▲16.2%)等が減少。
増加	半導体等製造装置	3,443	+ 38.4%	2年ぶり	+1.4%	韓国(+49.0%)、台湾(+122.9%)、アメリカ(+27.2%)、ASEAN(+124.7%)、EU(+107.5%)等が増加。中国(▲6.8%)、中東(▲2.8%)、香港(▲17.8%)等が減少。
増加	ゴムタイヤ及びチューブ	3,318	+ 32.6%	2年連続	+1.2%	アメリカ(+62.8%)、中東(+28.8%)、EU(+8.0%)、ASEAN(+72.6%)、中国(+13.1%)、台湾(+44.4%)、香港(+28.5%)等が増加。韓国(▲5.7%)等が減少。
増加	有機化合物	2,444	+ 12.2%	2年連続	+0.4%	中国(+20.1%)、EU(+26.6%)、台湾(+34.6%)、アメリカ(+38.4%)等が増加。ASEAN(▲0.1%)、韓国(▲15.4%)、中東(▲9.2%)、香港(▲83.4%)等が減少。
増加	船舶類	3,286	+ 8.6%	3年ぶり	+0.4%	EU(+241.0%)、香港(+98.6%)、韓国(+1430.2%)、台湾(+7409.0%)等が増加。ASEAN(▲71.1%)等が減少。

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸入	品 目	金額(億円)	前年比		寄与度	数量	前年比	
増加	原油及び粗油	22,295	+120.4%	2年連続	+20.4%	25,964千KL	+ 22.8%	7年ぶり
増加	液化天然ガス	4,238	+126.3%	2年連続	+4.0%	35,276百MT	+ 13.3%	2年ぶり

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	国 別	金額(億円)	前年比		寄与度	主要品目の動き ※()内は前年比
増加	大韓民国	11,783	+ 29.5%	2年連続	+3.9%	半導体等電子部品(+63.5%)、半導体等製造装置(+49.0%)、鉄鋼のフラットロール製品(+41.9%)、自動車(+1.0%)、船舶類(+1430.2%)等が増加。有機化合物(▲15.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲5.7%)等が減少。
増加	アメリカ合衆国	9,924	+ 30.7%	2年連続	+3.4%	自動車(+40.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+62.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(+20.6%)、有機化合物(+38.4%)、半導体等製造装置(+27.2%)、半導体等電子部品(+41.5%)等が増加。
増加	ASEAN	12,760	+ 16.9%	2年連続	+2.7%	半導体等電子部品(+24.0%)、鉄鋼のフラットロール製品(+13.0%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+72.6%)、自動車(+3.9%)、半導体等製造装置(+124.7%)等が増加。有機化合物(▲0.1%)、船舶類(▲71.1%)等が減少。
増加	中華人民共和国	19,240	+ 6.8%	3年連続	+1.8%	自動車(+9.7%)、半導体等電子部品(+69.2%)、有機化合物(+20.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+13.1%)等が増加。半導体等製造装置(▲6.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲0.3%)等が減少。
増加	EU	5,195	+ 24.5%	2年連続	+1.5%	鉄鋼のフラットロール製品(+78.8%)、自動車(+127.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+8.0%)、有機化合物(+26.6%)、船舶類(+241.0%)、半導体等製造装置(+1077.5%)等が増加。半導体等電子部品(▲33.9%)等が減少。
増加	中東	2,819	+ 53.0%	2年連続	+1.4%	自動車(+50.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+28.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(+122.4%)、半導体等電子部品(+116.7%)等が増加。有機化合物(▲9.2%)、半導体等製造装置(▲2.8%)等が減少。
増加	台湾	5,461	+ 20.3%	3年連続	+1.3%	自動車(+13.0%)、半導体等製造装置(+122.9%)、半導体等電子部品(+39.7%)、鉄鋼のフラットロール製品(+22.5%)、有機化合物(+34.6%)、船舶類(+7409.0%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+44.4%)等が増加。
増加	香港	3,863	+ 23.7%	3年ぶり	+1.1%	半導体等電子部品(+25.7%)、船舶類(+98.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+28.5%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲16.2%)、自動車(▲72.2%)、半導体等製造装置(▲17.8%)、有機化合物(▲83.4%)等が減少。

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸入	国 別	金額(億円)	前年比		寄与度
増加	中東	22,627	+122.1%	2年連続	+20.8%
増加	オーストラリア	15,786	+104.5%	2年連続	+13.5%
増加	ASEAN	12,182	+ 53.1%	2年連続	+7.1%
増加	中華人民共和国	12,982	+ 22.2%	2年連続	+3.9%
増加	アメリカ合衆国	5,520	+ 41.2%	2年連続	+2.7%
増加	ロシア	2,790	+ 42.5%	2年連続	+1.4%
増加	大韓民国	2,832	+ 7.6%	2年連続	+0.3%
減少	EU	1,690	▲ 13.0%	2年ぶり	▲0.4%
減少	ナイジェリア	14	▲ 76.6%	3年ぶり	▲0.1%
減少	ペルー	522	▲ 5.0%	2年ぶり	▲0.0%

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

3. 消費動向

(1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	合 計		百貨店		スーパー	
	販売額	前年比 全店 (既存店)	販売額	前年比 全店 (既存店)	販売額	前年比 全店 (既存店)
全 国	20,660,630	3.8 (3.2)	5,507,040	12.3 (12.8)	15,153,590	1.0 (0.1)
九 州 計	1,595,750	4.9 (4.3)	433,476	8.3 (8.3)	1,162,273	3.7 (2.9)
衣料品	309,646	8.4 (8.7)	196,338	10.6 (10.6)	113,309	4.7 (5.6)
飲食料品	851,783	3.7 (3.0)	112,620	4.0 (4.0)	739,163	3.7 (2.8)
その他	434,320	4.8 (4.0)	124,518	8.7 (8.7)	309,802	3.4 (2.2)

【注】 九州計の数値は沖縄を含む

	品 目	寄与度 (全店)	主 な 動 き (全店)	前年比(%)	
				全店	既存店
百貨店	合計	8.3	外出機会が増加したことや、高額品が好調だったことなどから、2年連続で前年を上回った。	8.3	8.3
	衣料品計	4.7	高額品を含む身の回り品が好調だったことに加えて、紳士服、婦人服ともに動きが良かったことから、2年連続で前年を上回った。	10.6	10.6
	飲食料品	1.1	食品催事や土産物需要などにより惣菜や菓子に動きがみられたことなどから、2年連続で前年を上回った。	4.0	4.0
	その他計	2.5	時計を中心とした高額品や化粧品などの動きが良かったことなどから、2年連続で前年を上回った。	8.7	8.7
スーパー	合計	3.7	飲食料品を中心に全般的に動きがみられたことや、価格上昇の影響から、2年ぶりに前年を上回った。	3.7	2.9
	衣料品計	0.5	外出機会の増加などにより全般的に動きがみられたことから、15年ぶりに前年を上回った。	4.7	5.6
	飲食料品	2.4	簡便食品等が好調だったことなどから、4年連続で前年を上回った。	3.7	2.8
	その他計	0.9	マスク等衛生用品、行楽用品に動きがみられたことなどから、2年ぶりに前年を上回った。	3.4	2.2

(3) 乗用車新車登録・届出台数動向

2022年	九 州			全 国		
	台数(台)	前年比		台数(台)	前年比	
全体	364,679台	▲ 6.1%	4年連続	3,443,375台	▲ 6.2%	4年連続
普通	124,544台	▲ 6.9%	2年ぶり	1,344,641台	▲ 7.0%	2年ぶり
小型	89,699台	▲ 5.5%	5年連続	873,740台	▲ 7.9%	5年連続
軽	150,436台	▲ 5.7%	4年連続	1,224,994台	▲ 4.0%	4年連続

出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

4. 住宅建設動向

2022年 九州	戸数(戸)	前年比(%)	
総数	88,814戸	+ 1.2%	2年連続
持家	27,721戸	▲ 12.6%	2年ぶり
貸家	38,913戸	+ 11.5%	2年連続
分譲	21,431戸	+ 3.6%	2年連続
全国	戸数(戸)	前年比(%)	
総数	859,529戸	+ 0.4%	2年連続
持家	253,287戸	▲ 11.3%	2年ぶり
貸家	345,080戸	+ 7.4%	2年連続
分譲	255,487戸	+ 4.7%	2年連続

出所：国土交通省「建築着工統計調査」

5. 物価動向

2022年 九州	消費者物価指数	前月比		前年比	
総合	101.8	-	-	+ 2.2%	2年ぶり
2022年 全国	消費者物価指数	前月比		前年比	
総合	102.3	-	-	+ 2.5%	3年ぶり

2022年 全国	企業物価指数	前月比		前年比	
国内企業物価指数	114.7	-	-	+ 9.7%	2年連続
輸出物価指数(円ベース)	125.8	-	-	+ 16.2%	2年連続
輸入物価指数(円ベース)	169.1	-	-	+ 39.1%	2年連続

出所：総務省「消費者物価指数」(2020年基準)、日本銀行「企業物価指数」(2020年基準)

6. 公共投資動向

2022年	請負額	前年比		前年比				
				国	独立行政法人等	県	市町村	その他
九州	1兆6,629億円	▲ 4.6%	3年ぶり	+ 5.1%	+ 6.5%	▲ 6.7%	▲ 8.5%	▲ 7.2%
全国	13兆6,174億円	▲ 4.7%	2年連続	▲ 13.9%	+ 4.1%	▲ 7.9%	▲ 0.2%	+ 1.9%

出所：西日本建設業保証(株)

7. 企業倒産動向

2022年			前年比	
倒産件数	九州	504件	+ 17.2%	3年ぶり
	全国	6,428件	+ 6.6%	3年ぶり
負債総額	九州	1,372億円	+ 96.7%	2年ぶり
	全国	23,314億円	+102.6%	5年ぶり

2022年 業種別			前年比	
倒産件数	製造	45件	+ 28.6%	2年ぶり
	卸・小売	123件	▲ 3.1%	3年連続
	建設	108件	+ 68.8%	3年ぶり
	その他	228件	+ 11.8%	3年ぶり

出所：(株)東京商工リサーチ